アイ・プラザ跡地に「市民の窓口」を

市民と要望

東浦和駅前のアイ・プラザ跡地の利用について、市民のみなさんが「私たちの願いを事業者に届けてほしい」と緑区長に要望し、私も同席しました。具体的には、市民の窓口を駅前に移転してほしいという要望です。アイ・プラザ跡地は民間の土地で、商業施設等の開発が検討されていますが、**今後計画される土地利用のなかで、市として市民の窓口移転を含めた公共施設の移転の可能性を積極的に検討するよう**市民のみなさんとともに求めていきます。

ヤングケアラーなど対象拡大求める

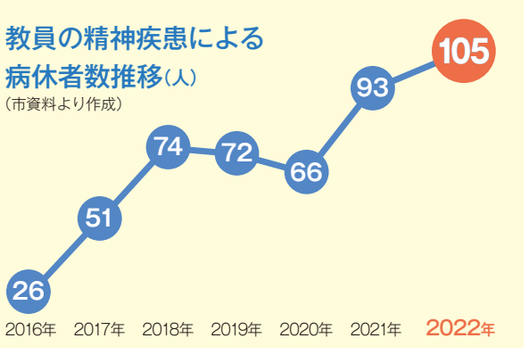
ふれあい収集

ごみ捨てに困難を抱える高齢者・障がい者宅に戸別収集をする「ふれあい収集」利用者が増えています。私は**ヤングケアラーとの同居でも利用できるようにするなど対象を広げるよう提案**。市は柔軟な対応を約束しました。ごみ捨てでお困りの方は、まずは市に相談してみてください。

さいたま市ふれあい収集ホームページ

教員の健康まもるとりくみ求める

教員の精神疾患による病休者が増え続けています。これまで私は改善を求める質問を繰り返しおこない、**昨年９月議会の質問に副教育長は「現状把握と必要な改定をしたい」と答弁**しました。



あらためて**今議会で何をしたか確認したところ、「新たな策は検討していない」と答弁**。教員の命と健康をまもろうという姿勢が感じられませんでした。

私は「知恵は現場にある」として、教員から負担軽減の提案を聞くよう求めたところ、市は**「教員アンケートに学校現場の声が聞ける自由記述欄を取り入れる方向を検討する」と答弁**しました。

教員は法律上、残業代が支払われません（たとえば勤続10年の教員で、年間約115万円相当の残業代が支払われない）。休日出勤・持ち帰り残業もしています。こうした実態に心を寄せて、働き方の改善にとりくむよう重ねて求めました。

日本共産党 さいたま市議団　2023年９月議会報告

原山市民プールなくさないで

市に存続署名5493筆

「子どもたちの笑顔うばうな」

今年の猛暑で原山市民プールがにぎわい、子どもたちの笑顔がはじけました。

ところが**清水市長は市内５つの市営レジャープールを原山市民プールも含めて原則なくし、１～２つに減らす方針案を発表。来場者数の減少や収支不足（赤字）を理由にしています**。しかし来場者の減少はコロナの影響です。収支についても市民が納めた税金を使う市民サービスに黒字を求めたら何もできません。市の方針を知った市民のみなさんから「とんでもない」「子どもたちの笑顔をうばわないで」と驚きの声が次々と寄せられました。

7月に行われたパブリックコメントには710通・905件もの意見が寄せられました。約９割が反対意見でしたが、市はわずかに修正したのみで基本方向は変えませんでした。市は、子どもをはじめ市民の声に耳を傾けるべきです。

方針案を見た市民のなかから存続を求める署名運動がはじまり、10月はじめに5493人の署名が市に提出されました。受け取った市の担当者は「重く受けとめる」「すぐに原山市民プールをなくすわけではない」と話しました。**市民の切実な願いを受け止め、市民プール存続へ力を尽くします。**

存続求める署名提出に同席（右）

再整備は公民館・支所と一体で

原山市民プールができたのは1979年。リニューアルは必要ですが、その際には老朽化している**原山公民館・支所と一体で再整備して敷地を効率的に活用することを私は提案します**。公民館の拡張や防災機能強化など住民要求を反映することができると考えます。

日本共産党 さいたま市議会議員
松村としお
お問い合わせ・お申し込み
松村としお事務所：緑区三室2713-4
TEL・FAX 874-9666
さいたま市議団 YouTube
無料
生活相談 第１・第３水曜日：午後３時～５時
法律相談 第３水曜日：午後３時～５時 弁護士が相談にのります

日本共産党さいたま市議会議員団　議会報告　TEL048-829-1811　FAX048-833-8165
発行：日本共産党さいたま市議会議員団　2023年11月　〒330-0061 さいたま市浦和区常盤6-4-4　さいたま市役所内
市政についてのご要望、ご意見は、日本共産党さいたま市議会議員団にお寄せください。　ホームページ www.jcp-saitama.jp

日本共産党さいたま市議団　2023年9月議会報告

市が財源不足ってホント？

2024年度の予算要望（736項目）を市長に提出

さいたま市の2022年度決算は歳入が6649億円、歳出が6558億円となり、実質収支が59億6100万円の黒字となりました。基金の総額は895億円で、過去最高金額を記録しました。

一方、9月のマスコミ報道では「新年度予算322億円の財源不足」と報道され、多くの市民から不安の声が寄せられました。予算編成で多額の不足にも関わらず、決算では大幅な黒字となる理由は？

予算の財源不足 原因は 上限金額のない大型開発

決算質疑の中で、財政局は「予算編成時の不足額はあくまで推計値、本予算を組む際には整理して予算編成を行う」と答弁しました。しかし、整理する前の数字を公表し、市民や市執行部に無言の圧力をかけることで、財政引き締めの口実としていることも事実です。それでは、「予算を整理する」とはどういうことなのでしょうか？

毎年大幅な不足額が計上される大きな理由は「上限を設けていない建設費」です。

市は毎年、大型開発やハコモノ事業の計画を立て、投資的な経費として予算を確保しています。その一方で、市民サービス等に関する「義務的な経費」の支出を限界まで縮小する。これが市の言う「予算の整理」だと明らかになりました。

お金がない	予算は大丈夫です！		お金がない
2022年 当初予算編成方針 「146億円の財源不足で厳しい財政状況」と危機感を煽る	**2022年決算では** 「59億円の黒字、総額895億円の基金（過去最高額）」で健全であると強調	**2023年 予算** 執行中	**2024年 当初予算編成方針** 「322億円の財源不足で厳しい財政状況」と発表しマスコミに報道される

市民にはお金がないと錯覚させ、不可欠なサービスの削減を進める一方で

市長がやるといった都市開発にはお金の糸目をつけない。

そんな予算の使い方を変えれば、もっと市民の暮らしを応援できます。

市民の税金はここに使われている

さいたま市がつくるもの（本当に必要？）

- ▶大宮駅グランドセントラルステーション化構想（GCS）
  総事業費算出せず
- ▶浦和南高砂再開発事業　予算額670億円+建設費
- ▶大宮カドマチ　予算額658億円（執行済）
- ▶新庁舎建設　予算額400億円
- ▶地下鉄7号線延伸・中間駅事業　予算額1000億円以上
- ▶与野中央公園5000人アリーナ計画　予算額51億円

さいたま市が減らすもの（なくなったら困る…）

- ▶市営レジャープール削減
  5カ所から1ないし2カ所へ
- ▶公立保育所
  60園から半分へ
- ▶公設放課後児童クラブ
  4施設が廃止　さらに減る見込み

おやつは17時以降　他都市では重篤事故も発生

「放課後子ども居場所事業」って大丈夫なの？

小学校の特別教室などを利用して、校区の児童は誰でも登録できる「子どもの居場所」。定員は設けません。保護者が就労の場合は夜7時まで利用でき、土曜日や長期休業中は朝8時から利用できます。来年度、4校（西区栄小、中央区鈴谷小、浦和区岸町小、岩槻区新和小）でモデル事業がスタートしますが、多くの問題点がわかってきました。

市の言い分	議会で明らかになった問題点
待機児童解消が目的	実態は…モデル事業の対象校は待機児童が少ない。一番多い鈴谷小学区でも、民間放課後児童クラブを開所して待機児童はいなくなる予定だった。
保護者会運営のクラブが運営に苦労しているので負担軽減が目的	要求は…事務員が雇えなくて、保護者が自分たちで支援員の面接や保育料計算をしている。事務員を雇えるように委託費を増額してほしい。
モデル事業を通して子どもたちへの影響などをしっかり見たい	実　は…2025年度もあらたに展開する計画。いずれは全校実施も視野に。
子どもを安心・安全に見守るということについては、この事業も放課後児童クラブも変わらない	本音は…「これまでどおりの子どもに寄り添った支援を受けたいという方は、民設の放課後児童クラブに行っていただきたい」という驚きの答弁。

この事業では放課後児童クラブの課題の解決も、子どもに寄り添った支援もできません。事業のあり方を厳しくチェックするとともに、今ある放課後児童クラブの運営への支援を強めることを求めていきます。

くわしくは市議団ニュースNo.1005へ